2021.1 No.1035
令和3年1月1日発行
編集・発行　鶴ヶ島市秘書広報課　〒350－2292　埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16－1　☎049・271・1111㈹　FAX 049・271・1190
市ホームページ

キラリ☆つるびと18
We are Tsurugashima

信じる力

鶴ヶ島中学校　女子駅伝部

11月に行われた「第88回埼玉県駅伝競走大会」（県大会）で優勝し、2連覇を達成。12月に行われた「第29回関東中学校駅伝競走大会」（関東大会）では第3位と、優秀な成績を収めたチームの、その強さの秘密とは―。

第29回関東中学校駅伝競走大会

第88回埼玉県駅伝競走大会

後列左から：佐藤咲希さん（3年）、田倍康晴コーチ、沖田梨花さん（3年）、小川璃子さん（3年）、桑原由佳莉さん（2年）、古田陽梨さん（3年・キャプテン）、廣瀬築顧問
前列左から：小関華苗さん（3年）、柳川晴乃さん（2年）、森田優那さん（2年）、田中伸一監督

折れない心

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、選手たちの練習にも大きな影を落としました。沖田さんは「練習ができなくて大変でした。でも、選手・コーチ・監督など、みんなで協力して」と、チームワークの良さで乗り越えてきました。

しかし、目指していた全国大会が、感染拡大防止のため中止になり、突然目標を失ってしまいます。佐藤さんは「全国大会が無くなって諦めそうになったけど、関東大会を全国大会だと思って」気持ちを切り替えたそうです。

田中監督は「選手たちは意志がとても強い。いつ挫折してもおかしくない状況でも、挫けることがない。過去最強の選手たち」と絶賛します。

全員の力で

県大会では、作戦どおりに試合を展開し、2年連続の優勝を果たしました。

次は、最後の大舞台である関東大会。田倍コーチは「実力的には他県のチームが一番です。しかし、選手たち一人ひとりに聞いたら『優勝したい』と」当時をそう振り返ります。

小川さんは「鶴中の強みは、飛び抜けて速い選手はいないけれど、8人全員が記録向上を目指して、日々切磋琢磨しながら頑張ってきたところ。結果を残したかった」と話してくれました。

また、小関さんは「今まで続けてこれたのは、いろいろな人が支えてくれたおかげ。みんなが歯を食いしばって練習する姿を見て、どのような形でも、私も一緒に戦いたい」と、全員一丸となって戦う準備は整っていました。

田倍コーチが振り返ります。「優勝するための作戦をいろいろと考えました。精神的に充実していた古田キャプテンをアンカーにし、彼女で負けたら仕方がないと選手たちに伝えました。また、自分自身と支えてくれる人を信じて走りなさいと伝えました。選手一人ひとりが力を振り絞って、粘り強い走りを見せてくれました。最後のゴールでは涙が出ました」

継承するもの

桑原さんは「ここまで来れたのは、数えきれないほどのたくさんの人の支えがあったからです。これからも、しっかりと練習して、良い成績が残せるようにしたいです」と、感謝の気持ちと新たな目標を忘れません。森田さんは「県大会、関東大会を見せてもらって、私もこういう大きい舞台で走りたい」と話し、柳川さんも「誰よりも頑張ってきた選手たちの一生懸命走っている姿を見て、私も3年生たちみたいに走れるように頑張っていきたい」と話してくれました。

古田キャプテンから後輩たちへメッセージ。「悔しい気持ちは残るけど、結果を出せたのは良かったです。私は、この3年間で大切な仲間や支えてくれる人を見つけることができました。ただ結果だけを求めるのではなく、自分自身のそれまでの努力や、支えてくれるみんなを信じて、頑張っていってほしいです」

これまでの想いが込められたタスキが、また後輩へと受け継がれていきます。

編集後記

今回特集をした消防組合の新井拓也さんは、次の担い手の育成と、救急・医療の連携をより深めるため、休日も消防職員や医療関係者に対して、適切・迅速な処置を学ぶセミナーのインストラクターとして指導にあたっているとのこと。「休みの日も指導にあたるのは大変ですね」と聞くと、一言、「嫌いじゃないんで」とさらり。鶴ヶ島の救急は、救急隊の使命感に支えられています。
ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp

【成績】第88回埼玉県駅伝競走大会（県大会）　第1位　42分13秒（1区 桑原、2区 小川、3区 古田、4区 佐藤、5区 沖田）
第29回関東中学校駅伝競走大会（関東大会）　第3位　42分01秒（1区 沖田、2区 桑原、3区 小川、4区 佐藤、5区 古田）